

## 設置・操作ガイド



### 製品説明

Biamp TEC-X 2000 ウォールコントロールパネルは、カスタマイズ可能なタッチパネルで Tesira システムの特定の機能を管理するための壁掛けコントロールデバイスです。ボタン機能はプリセットや多数のロジック機能を制御するように設定できます。TEC-X 2000 は PoE 給電で、さまざまなジャンクションボックスに簡単に取り付けられます。オプションで卓上設置も可能です。

### 特長

- カスタマイズ可能な LCD タッチスクリーン
- カスタマイズ可能な LED ライトバー
- PoE 給電
- 最大 4 台までデジチェーン接続可能
- 環境光センサー (LCD と LED を自動調整)
- CE マーク、UL リスト、RoHS 対応

### 設定と使用

Tesira ソフトウェアは、TEC-X 2000 のセットアップとプログラミングに直感的なインターフェイスを提供します。このマニュアルに記載されている情報は、物理的な接続とデバイスのセットアップに関するものです。タッチスクリーンの機能のプログラミングを含むソフトウェアセットアップの詳細については、Tesira ヘルプファイルを参照してください。

TEC-X 2000 壁面コントロールパネルは、部屋の設計要件に従って、4 インチ × 2 インチの電気接続箱に直接取り付けるように設計されています (各リモートに専用のボックスが必要です)。最大 4 台の TEC-X 2000 パネルをデジチェーンで取り付けることができます。設置用金具が付属しています。詳細な設置方法は、以下のページをご参照ください。

適切な場所にインストールされると、その後のセットアップと設定はすべて Tesira ソフトウェアで行われます。

### 重要な安全性 / コンプライアンス情報

TEC-X 2000 壁面コントロールパネルは、換気口、ラジエーター、ヒートレジスタなどの熱源から離して設置してください。また、水や蒸気などの湿気が発生する電化製品の近くには設置しないでください。最高使用周囲温度 (0°~35°C) を超えないようにしてください。

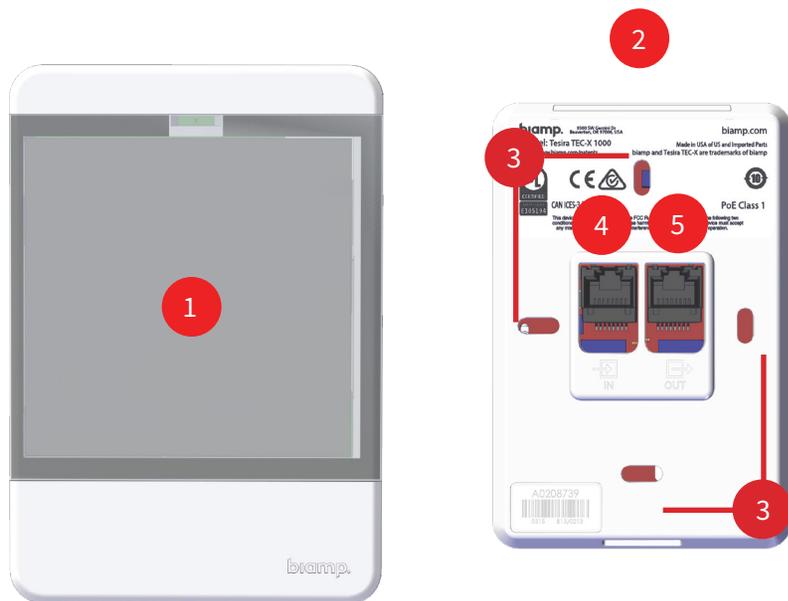


図 1. TEC-X 2000 壁面コントロールパネルの前面と背面

## TEC-X 2000 ウォールコントロールパネル

1. 静電容量式タッチ LCD ディスプレイ
2. LED ライトバー
3. 取り付け穴 (4 箇所)
4. イーサネット入力 (制御ネットワークから)
5. イーサネット・アウト (TEC-X デバイスへのデジチェーン)

## 設置

TEC-X 2000 は、標準的なギャングボックスのコンセントに取り付けられるように設計されており、最大 4 台の TEC-X デバイスをデジチェーン接続することができます。**注：すべてのイーサネットケーブルは、設置前に接続しておく必要があります。**

TEC-X 2000 をジャンクションバックボックスのコンセントに以下のように取り付けます：

TEC-X 2000 は、フェースプレートとバックプレートを容易に分離できるよう、下部クリップの上にプルタブを取り付けた状態で部分的に組み立てられています。

1. 図 2 を参照してください。フロントパネルを下に引いてバックプレートから分離し、プルタブを取り外します。

**注：壁面の仕上げがすべて完了し、イーサネットケーブルが接続されるまでは、フェースプレートをバックプレートにはめ込まないでください。**

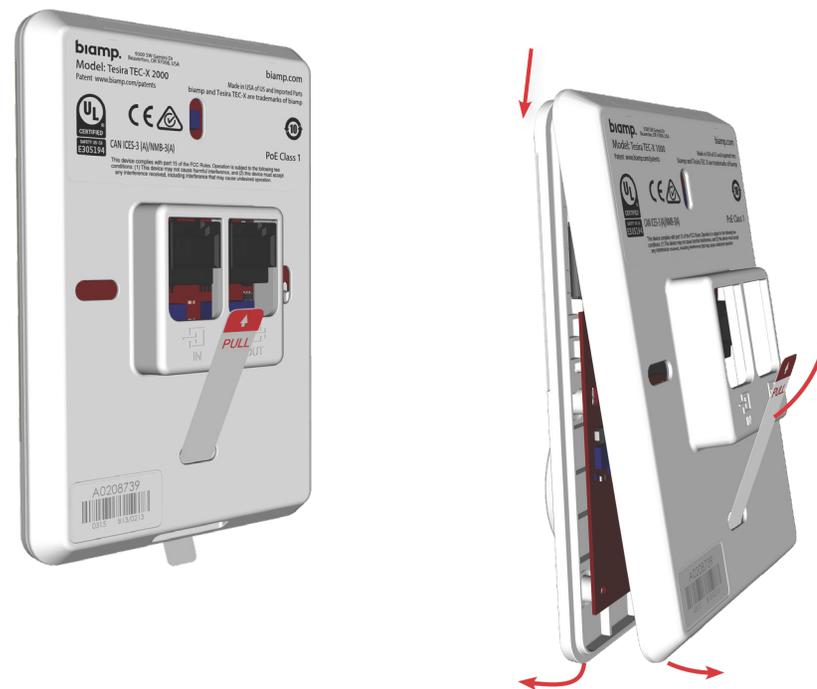


図 2. フロントパネルをバックプレートから分離する

2. 図3を参照してください。コントロールイーサネットケーブルを "IN" と書かれたポートに挿入します。
3. 必要に応じて、"OUT" と表示されたポートにダウンストリームイーサネットケーブルを挿入してください。

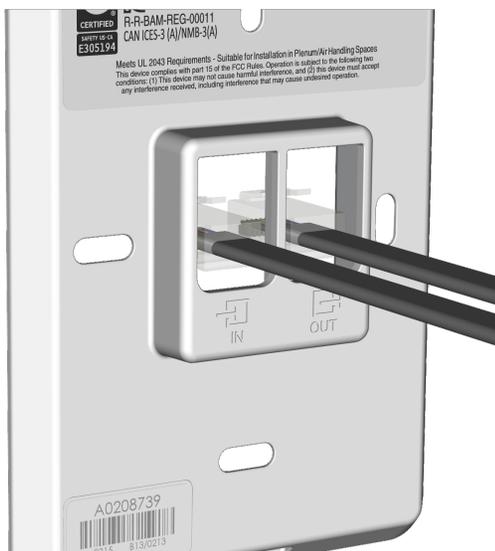


図3. イーサネットケーブルの挿入

4. 図4を参照してください。バックプレートを通してギャングボックスにネジを取り付けます。

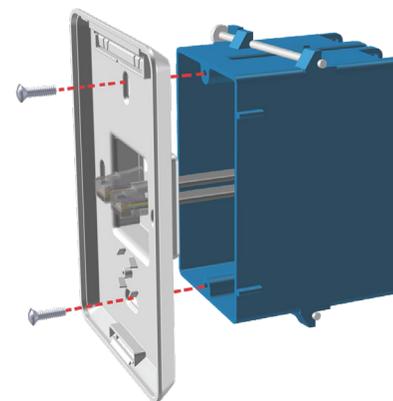


図4. バックプレートの取り付け

5. 図5を参照してください。イーサネットケーブルをフロントパネルの適切なポートに差し込みます。

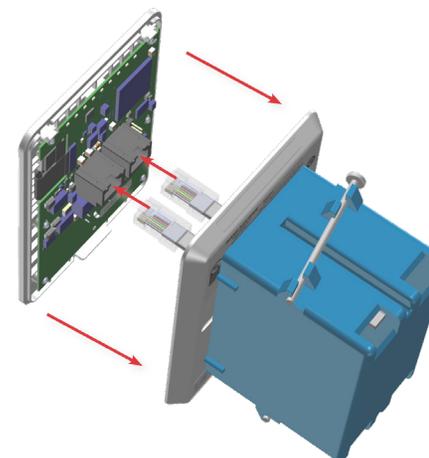


図5. イーサネットケーブルの接続

## 設置（続き）

6. 取り付けしたバックプレートの上に、フェースプレートを注意深くクリップで留めてください：
  - a. 図6をご参照ください。上部クリップをバックプレート上部の2つのリセプタクルに合わせます。
  - b. 下側のクリップをバックプレートのリセプタクルにはめ込みます。
7. 最大4台の TEC-X 1000 または TEC-X 2000 デバイスを任意の組み合わせでデジチェーン接続することができます（合計4台）。デジチェーン内のデバイス間の最大許容距離は100mです（全体で最大400m）。

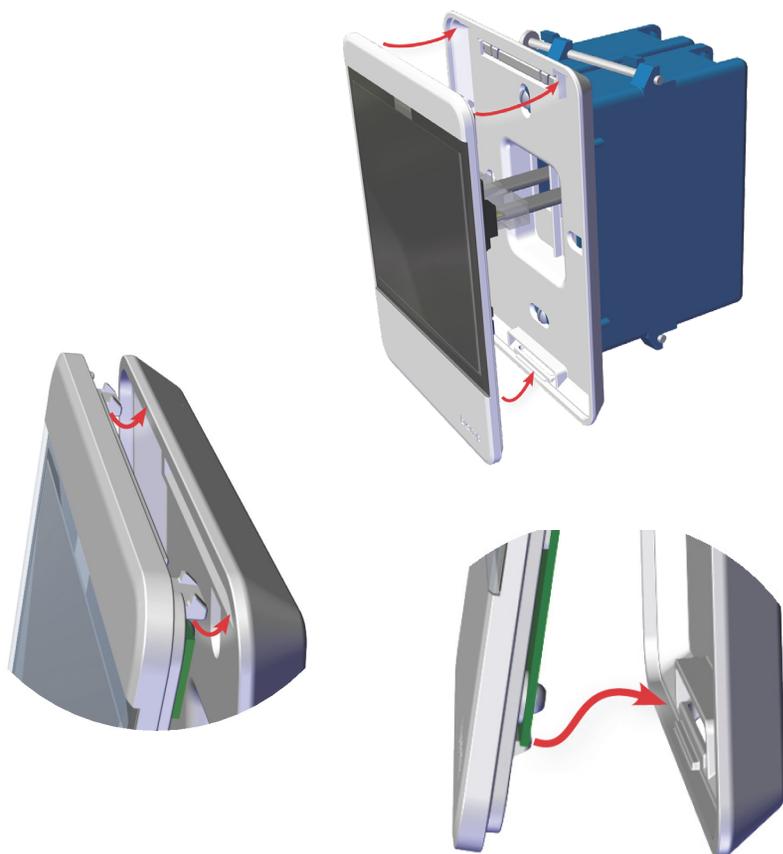


図6. クリップの取り付け

## 卓上設置（オプション）

卓上設置はデジチェーンの最後のデバイスにのみ利用できます。フェースプレートの取り外しについては、「メンテナンス」をご参照ください。



図7. 卓上設置の方法

## 配線

TEC-X 2000 は、Tesira Server-Class デバイス（TesiraFORTÉ など）に接続する必要があります。最大4台の TEC-X 2000 デバイスをデジチェーンで接続できます。図9は、TesiraFORTÉ と4台の TEC-X 2000 ウォールコントロールデバイスを使った基本的なレイアウトです。

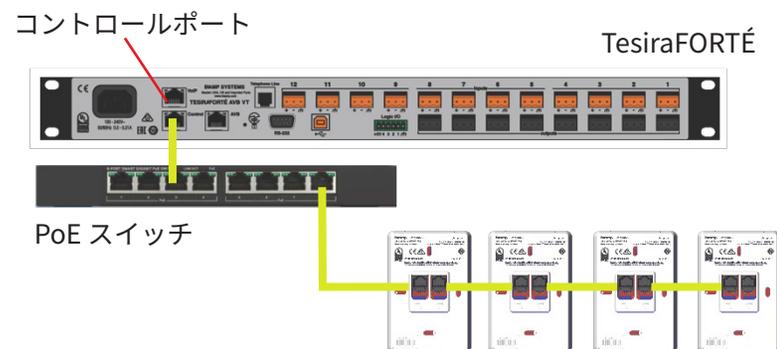


図9. 基本的なレイアウト

## 操作

TEC-X 2000 の操作は、Tesira でのデバイスの設定方法によって異なります。次のセクションでは、タッチスクリーン操作に関する基本的な情報を紹介します。

1. すべての接続が完了し、デバイスの電源がオンになると、TEC-X 2000 は以下のような Tesira で設定されたアクションやプリセットを開始するように設定できます：

- リモートロック / ロック解除
- オーディオソースの選択
- オーディオレベルの調整
- プリセットの呼び出し
- ミュート信号
- 部屋の組み合わせ / 分割（ルームコンバイナー）
- サードパーティのデバイスにコマンドを送信する

2. Tesira ソフトウェアで設定後、初回起動時には、スプラッシュ画面でデバイスに関する情報（ファームウェアバージョン、MAC アドレスなど）が表示されます。初期化されると、制御機能が使用できるようになります。

注：Tesira プログラムは、機能へのアクセスに PIN コードが必要になるようにデバイスをロックするオプションを持っています。

3. ボタンは Tesira ソフトウェアで設定することができます。インターフェースを物理的なデバイスに合わせてカスタマイズできます。
4. Tesira ソフトウェアでは、複数のページにそれぞれ独自のアイコン、テキスト、ボタンの色などを設定することができます。図 8 と図 9 には一例です。
5. 選択したボタンはハイライトされます。

6. ディスプレイには以下の情報も表示されます：

- 南京錠のアイコンは、デバイスがロックされていることを示します。機能にアクセスするには PIN が必要です。🔒
  - デバイスがロケートモードにあることを示します。📍
  - エラーは、エラー内容を示すテキストとともに表示されます。⚠️
7. Tesira SW で決められた時間が経過すると、画面は自動的に暗くなり、スリープモードに入ります。

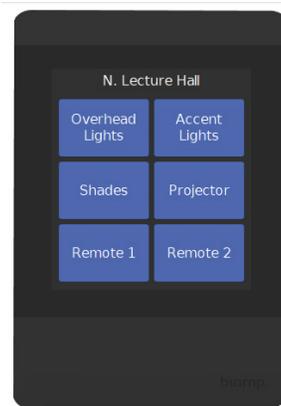


図 8. 6 ボタンレイアウト

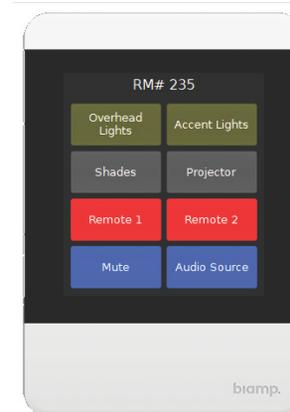


図 9. 8 ボタンレイアウト

## メンテナンス

biamp.™



**重要** すべての仕上げが完了するまで、フェース・プレートをバック・プレートにはめ込まないでください。

壁面への設置が完了し、イーサネットケーブルが接続されていることを確認してください。フェースプレートは、マイナスドライバーをバックプレート下部の溝に挿入し、タブを注意深く押し下げ取り外してください。タブは硬いので、プラスチックを傷つけないように気をつけてください。

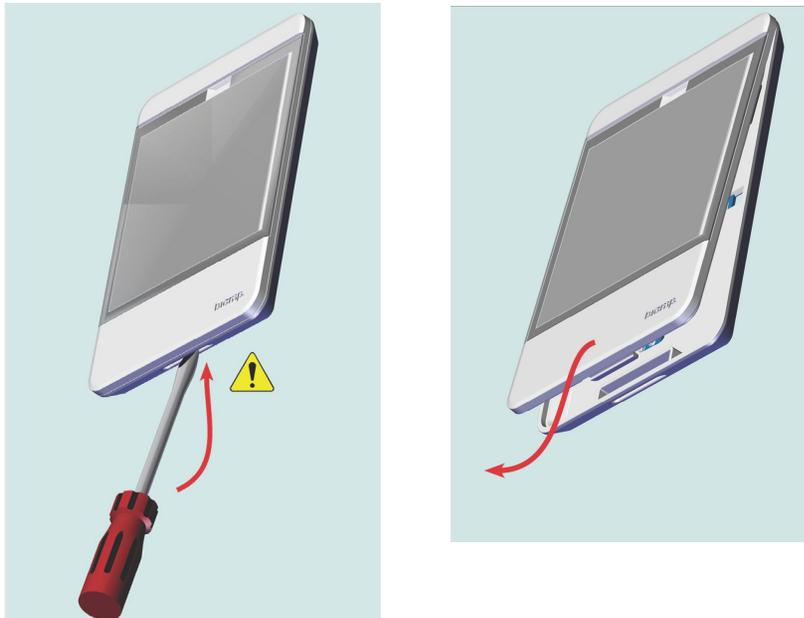


図 10. フェースプレートの取り外し

注：本マニュアルに記載されている情報が、発行時に正確であるよう、あらゆる努力を払っています。しかし、継続的な技術的進歩により、本マニュアルに記載されていない変更や修正が行われている可能性があります。最新版は [www.biamp.com](http://www.biamp.com) をご確認ください。

biamp.

A: 9300 S.W. Gemini Drive Beaverton, OR 97008 USA

W: [www.biamp.com](http://www.biamp.com)